

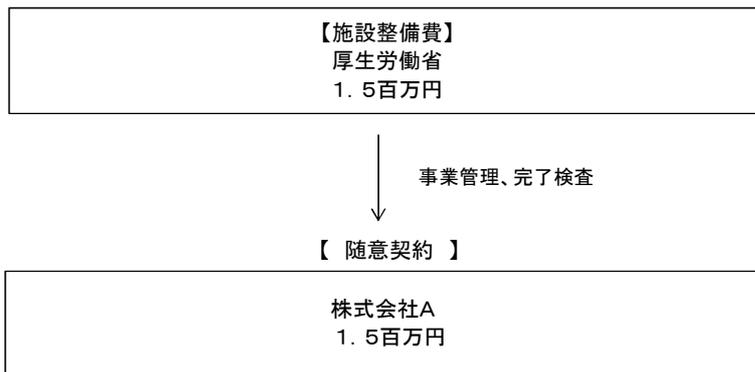
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	施設整備費	担当部局庁	労働基準局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	勤労者生活課	松原 明紀			
会計区分	一般会計	政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国有財産法第8条 国有財産法施行令第5条	関係する計画、通知等	・独立行政法人整理合理化計画(平成19年12月24日閣議決定) ・独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針(平成22年12月7日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人勤労者退職金共済機構から厚生労働省に国庫納付された越谷職員宿舎(土地及び建物2棟)について、両宿舎の土地を売却するために建物の解体を実施するもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	越谷職員宿舎 当該宿舎2棟のうちA棟は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構との合築であり、費用を応分負担の上解体工事を実施する。なお、平成24年度中に解体を完了する予定であったが、施行当初予期していない場所にアスベストが発見され、年度内には完了しない見込みとなったため、予算の事故繰越申請を行い、平成25年度中に建物の解体を完了することとした。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算			30.9		
		繰越し等			△ 18.6	18.6	
		計			12.3	18.6	
	執行額			4.7			
	執行率 (%)			38.2			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	平成25年7月末までに越谷職員宿舎建物の解体を完了させる。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	解体作業が予定どおり完了するよう適切な作業実施を監督する。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
				-	( - )	( - )	( - )
単位当たりコスト	- (円/ )		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	外部委託	-	-				
	計	-	-				

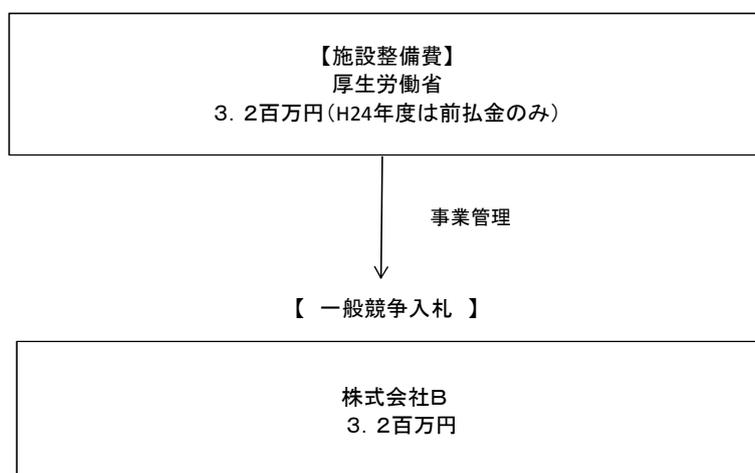
事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	—		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が所有する施設の整備であり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	①厚生労働省旧越谷職員宿舎解体工事設計業務「△」一般競争入札を行ったが、応札額が予定価格を下回らなかったため不落随契とした。 ②厚生労働省旧越谷職員宿舎解体工事業務「○」一般競争入札により支出先を選定した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	国庫納付された建物の解体を行うという事業目的に即し真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用が発生した理由は、解体工事の遅れによる事故繰越及び入札差金の発生に伴うものである。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	①厚生労働省旧越谷職員宿舎解体工事設計業務 本事業は、一般競争入札を行ったが、応札額が予定価格を下回らなかったために、株式会社Aと随意契約を行った。仕様書どおり、納期までに設計図及び積算関係資料等の青果物が納品され、適切に履行されていることを確認した。			
	②厚生労働省旧越谷職員宿舎解体工事業務 本事業は、一般競争入札を行った結果、株式会社Bが施工を請け負ったが、施行当初予期していない場所にアスベストが発見され、年度内には完了しない見込みとなったため、予算の事故繰越申請を行い、平成25年度中に建物の解体を完了することとした。			
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
—				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
—				
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年	平成24年	0033

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

①厚生労働省旧越谷職員宿舍解体工事設計業務



②厚生労働省旧越谷職員宿舍解体工事業務



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.株式会社A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	厚生労働省旧越谷職員宿舎解体工事設計業務	2			
計		2	計		0
B.株式会社B			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	厚生労働省旧越谷職員宿舎解体工事業務	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 株式会社A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	厚生労働省旧越谷職員宿舎解体工事設計業務	1.5	随意契約	

B. 株式会社B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社B	厚生労働省旧越谷職員宿舎解体工事業務	3.2	7	55.28%